

コロナもやや収束気味ですが、外出等の自粛で運動不足の方も多いでしょう。まもなく梅雨に入ります。天気の良い日は屋外で体を動かし、体力を作りましょう。



♪ センターのご紹介 (スタジオ編)

三重県聴覚障害者支援センターにあるスタジオでは、ホームページに掲載する動画や手話学習動画の撮影、編集、字幕付与、DVD制作などを行っています。

いくつかのパターンを撮影し、わかりやすく、伝わりやすい映像を選んでいます。



動画



編集作業

映像の内容をさらに検証し、必要な情報をしっかりと伝えるため、大切なポイントに絞り込むなど情報の整理をしています。



5月某日、三重テレビで放送されている県広報番組『県政だより みえ』の手話通訳の撮影がありました。写真は撮影前の様子です。
番組は、毎月第3日曜日(18:45~19:00)に放送中です。放送後も三重県インターネット放送局でご覧いただけます。



♪ 特別定額給付金について 🔍 全日本ろうあ連盟ホームページに手話動画が掲載されています

特別定額給付金は、「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」に基づいた家計への支援です。
給付額は、**おひとり10万円**です。
申請書は、**市町から郵送**されます。
申請は、感染拡大防止のため、**郵送申請またはオンライン申請**です。
申請期間は、**受付開始日から3カ月以内**です。(受付開始日は市町によって異なります)

字幕映像ライブラリー NEWS


梅雨の季節、ほんの少し外出がおっくうに……。さあ、今こそ、字幕映像ライブラリーを利用して、「おうち時間」を楽しんでみませんか？



今回のおすすめ作品

『名もなく貧しく美しく』

戦後の混乱期を生き抜いた一組のろうあ者夫婦の姿を描く。道夫と秋子は、「二人で助け合わなければ生きていけない。助け合って普通の人に負けないように……」と必死で生きてきた。やがて子供にも恵まれ、幸せをかみしめる二人だったが……

 昭和36年・東宝・松山善三監督作品・113分

『父と子 続・名もなく貧しく美しく』

一郎は、父道夫と、事故で亡くなった母秋子との間に生まれた。両親が聴覚障害者であるために、就職や結婚など差別に直面し苦しんでいた。そんなある日、初めて一郎の人間性を認めてくれる人物が現れ、やがて彼の娘との縁談を持ち出された。

 昭和42年・東宝・松山善三監督作品・115分




利用された方から感想をいただきました（一部抜粋して掲載します）

作品名 『名もなく貧しく美しく』

名優と謳われた高峰秀子。彼女が生前「ろう者のような手話に見えるよう工夫した。」と言われていた映画です。彼女の手話は美しかった。でも更に私の印象に残ったのは夫役、小林桂樹の手話のテンポ・息づかいでした。本物のろう者がいるように感じました。手話学習者の立場で見ると『ろう者の子育てに周囲はどう関われば良いか？』『セリフ（音声・手話）を字幕に翻訳する時、分かり易い訳は何か？』という事を考えさせられる内容でした。みなさんも是非ご覧になって下さい。今観ても、内容に古さを感じさせない人間ドラマが描かれています。

ご自宅から、作品の貸し出し申込みや返却ができます。

- ①三重県聴覚障害者支援センターの利用者登録をします（既に登録済みの方は手続きは不要です）。
 - ②「字幕入り映像ライブラリー借受申込書」に必要事項を記入し、支援センターに提出してください（郵送・FAX・メールでOK）。
 - ③貸し出しは、1人1回3巻（枚）まで。
 - ④手渡しでの貸し出しが原則ですが、郵送を希望する場合は、郵送による貸し出しも行っています。
 - ⑤貸し出し期間は2週間まで。郵送による返却もOKです。**返却時の郵送料はご負担ください。**
-  当センターホームページに、申込書や作品リスト、動画『字幕入り映像ライブラリーの利用について』を掲載していますのでご覧ください。